

クラス番号	341	担当教員名	伊藤 大介
		他専修学生受入上限人数	2 名
テーマ	高齢者の暮らしを支える地域包括ケア —誰もが安心して高齢期を迎えられる社会を目指して—		
ゼミナール概要			
●キーワード 高齢者福祉、ソーシャルワーク、援助要請、予防、ケアマネジメント、ヒューマンケア			
●ねらい 高齢者やその家族が生きがいを持って安心して暮らせるよう、在宅・施設などフィールドを問わず、科学的根拠に基づく実践を土台にして、地域包括ケアに貢献する社会福祉専門職を目指します。			
●考え方 その1：歳を重ねれば、誰でもやがて高齢者になります。認知症になったり、加齢による衰えなどがあっても生きがいを持って安心して暮らせる社会は、 <u>将来への不安の小さい社会</u> と言えるはずです。 その2：生活課題を解決するだけでなく、発生・深刻化の予防も視野に入れて実践する必要があります。例えば、地域単位の介護予防の取り組みや <u>「助けて」を言いやすい地域づくり</u> などです。 その3：「支援に正解はない」と言われることもあります。良い結果になる可能性が高い最適解は状況ごとにあるはずです。最適解にたどり着くには、経験だけでなく、 <u>研究結果を読み解き、実践に活かす力</u> が求められます。これは、社会福祉専門職の土台の一部となる大事な力です。			
●授業計画 3年次：卒論執筆に必要な「読む」「書く」「考える」力を高めながら、調査方法の学習や文献レビューを進め、研究計画を作成します。 <u>現場の第一線で活躍する社会福祉専門職をゲストに迎えてディスカッション</u> を行い、高齢者分野のリアルを学びながら、より良い実践について考えます。 4年次：秋の卒論完成を目指し、3年次からの学習を継続します。卒論完成後は、国家試験対策やそれぞれの進路に応じた学習に取り組みます。3年次に引き続き、社会福祉専門職をゲストに迎えてディスカッションを行い、 <u>現場の課題解決について多次元（ミクロ・メゾ・マクロ）で考えます。</u>			
担当教員からのメッセージ			
	●自己紹介 以前は、 <u>地域包括支援センター／市町村社会福祉協議会／高齢者施設</u> で、主に <u>ソーシャルワーカー</u> として働いていました。実践も研究も高齢者分野が軸ですが、知的障害者・精神障害者分野の実践に関わった時期もあります。皆さんには、自分と周りの人とワークライフバランスを大事にする「ちょっとだけ欲張りな専門職」になってほしいです。 ※写真は私が大学生の頃（皆さんと同じ年齢の頃）のものです。 ●エントリーシート 自分がどんな時によく笑うかについて、エピソードを交えて教えてください。 ●ゼミについて 私の専門は高齢者福祉ですが、科学的根拠に基づいて実践できる社会福祉専門職になるための論理的思考力の向上を重視した内容ですので、社会福祉実践に何らかの形で（間接的にでも）関わりたいと考えている学生は <u>分野に関係なく大歓迎</u> です！		